

- PWRの炉心そう溶接部に対するISIは、JSME維持規格（JSME S NA1）の「IG 炉内構造物の標準検査」章に基づき行われており、その検査内容は以下のとおり。

試験対象	試験方法	検査間隔
炉心そう溶接部*1 (内面側)	VT-3	1回／10年 (運転開始30年以降は1回／7年)
炉心そう溶接部*1 (外面側)	VT-3	1回／10年 (運転開始30年以降は1回／7年)

\* 1：接近可能な表面

<補足：国内PWRプラント炉心そうについて>

- 炉心そうの材料はSUS304。
- 炉心そう溶接部に対して、VT-3は可視範囲100%で確認できている。
- JSME維持規格の「IJG 炉内構造物の個別検査」章に基づく検査は実施していない。